

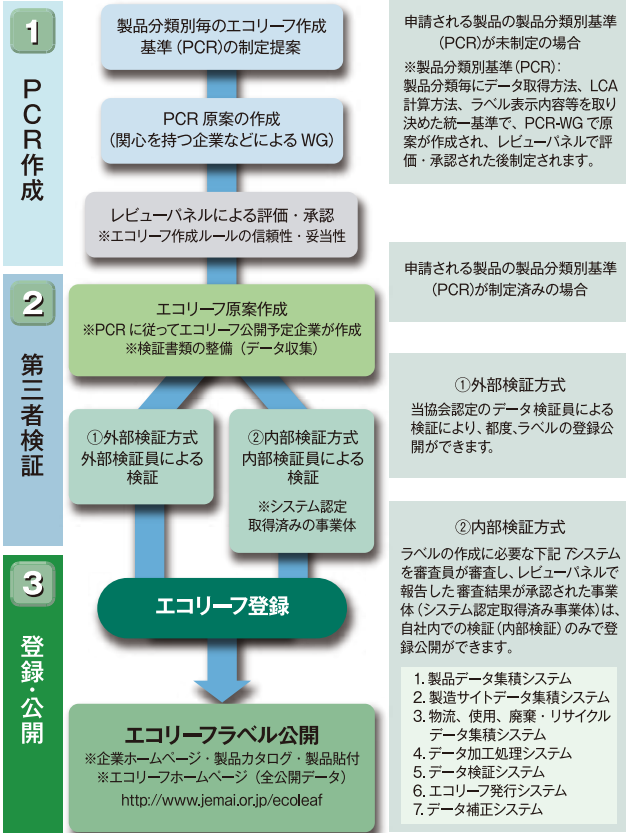


製品の定量的な環境情報が分かる
エコリーフ環境ラベル

エコリーフラベル公開までの流れ

ルール(PCR)作りからマークの公開まで

エコリーフで公開される情報は、定量性、公平性、客観性を備えており、ラベル公開(エコリーフで第三者認証を得た情報開示)のためにはルール(PCR)作成、第三者検証等のプロセスが必要です。



製品の定量的な環境情報が分かる
エコリーフ環境ラベル

料金体系

ステップ	所要日数(目安)	基本料金	支援プラン(有料)
1	PCR作成 3か月	外部検証 内部検証 無料	PCR作成およびLCA算定に関する支援・コンサルも随時行っております。詳しくはエコリーフ事務局(TEL:03-5209-7712)までお問い合わせください。
2	第三者検証 1か月 2週間	22万円/ラベル/件 140万円/システム/3年	エコリーフラベル作成支援ソフト ※料金は下記を参照ください。 外部/内部検証どちらかを選択
3	登録・公開 1週間	AまたはBのどちらかを選択 A ラベル単位: 3万円/年 B PCR単位: 7万円~/年	A: [ラベル単位登録] ラベル登録公開に月3万円(2年目以降2万円)の料金方式 B: [PCR単位登録] PCRの対象範囲内の売上高実績をもとに算定した料金方式。有効期間内であれば登録・更新件数に制限はない。

基本料金	支援プラン(任意)	=	
・検証料金	・支援ソフト料金		
・ラベル登録料金	・コンサル料金		
合計			

【検証料金(外部検証/内部検証:システム認定審査)】

	料金種別	料金(税抜)	単位
	標準料金	¥220,000	
外部検証	類似製品	2~3製品目	¥165,000
		4~5製品目	¥110,000
	6製品目以降	¥55,000	
シリーズ製品	実測ラベルのみ	¥264,000	/ラベル
	計算ラベル	¥26,400	
内部検証: システム認定審査 標準料金			¥1,400,000
			システム/3年間

【ラベル登録料金】AかBのどちらかを選択

	A	新規料金/年		更新料金/年
		ラベル単位	¥30,000	
B PCR単位	売上高	1億未満	¥70,000	
		10億未満	10+(売上高-1)億円×5/9	
		100億未満	20+(売上高-10)億円×10/90	
		1000億未満	40+(売上高-100)億円×20/900	
		1000億~	¥600,000	

【エコリーフラベル作成支援ソフト貸与料】※

	料金	単位	
貸与期間	¥20,000	3か月	個別ラベルはPCR単位、システム認定企業は事業者単位
	¥30,000	6か月	
	¥50,000	12か月	

製品の定量的な環境情報が分かる

エコリーフ環境ラベル



社団法人産業環境管理協会
エコリーフ事業室

Tel:03-5209-7712 Fax:03-5209-7716

東京都千代田区鍛冶町 2-2-1

<http://www.jemai.or.jp/ecoleaf>

詳しくは...

エコリーフ

検索

<http://www.jemai.or.jp/ecoleaf>



よくあるご質問

全般

Q1 エコリーフ取得のメリットって何ですか？

A1 客観的な環境情報を開示することにより積極的な環境経営をアピールできる、自社製品が産み出す環境負荷を把握することで結果を製品設計に反映させる、社内の環境意識の向上等の効果が期待されます。

Q2 エコマークと何が違うのですか？

A2 エコマーク*は製品ごとに設けられた「一定の基準」を満たしているかどうかで認定（マークをつけてよいか）が決まります。一方、エコリーフはLCA手法を用いた定量的な環境負荷情報を開示しており、評価は開示される情報の読み手自身に委ねられます。（*日本環境協会が運営しています）

Q3 エコリーフを登録・公開できる製品にはどのような物があるのでしょうか？

A3 様々な製品のみならずサービスで登録公開することができます。ユニークな例としては電力、食料配達システムなどがあります。

Q4 複数の類似製品を1枚のラベルで登録・公開できますか？

A4 該当する製品分類別基準（PCR）で取り決められた製品仕様により判断されます。仕様の内容が違えば別個の製品と扱うこととし、1ラベル1製品を原則としています。ただし、PCRで「シリーズ製品」の定義がなされていれば、1ラベル複数製品の登録・公開が可能です。

Q5 他社からのOEM供給製品でもエコリーフの登録・公開はできますか？

A5 可能です。

Q6 海外市場を対象とした製品のエコリーフの登録・公開はできますか？

A6 可能です。現在のところ国内の使用、廃棄・リサイクル条件下でラベル作成していただいています。ラベル上にはその旨の注意書きが必要です。

マークの利用

Q1 エコリーフマークの使用条件はありますか？

A1 エコリーフを登録・公開したり、システム認定を取得した場合、該当製品への貼付や、説明用のカタログ表示などにご使用いただけます。またエコリーフ環境ラベルプログラム自体を紹介する場合などにもエコリーフマークの使用が可能です。いずれも、ご使用の際はマーク使用申請書の提出が必要です。

Q2 システム認定取得についてマーク表示はしてもいいのですか？

A2 名刺等、システム認定を取得された事業体を説明する際の表示は可能です。ただし、個別の梱包箱などに表示する場合や限定された製品紹介のカタログ等に使用する場合などは、エコリーフの登録・公開の如何に関わらず認められていません。

Q3 エコリーフマークを使うにはどうすればいいのでしょうか？

A3 ホームページよりエコリーフマーク使用申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、事前に掲載内容を確認できる原稿を添付の上ご送付ください。当室より電子データで送付させていただきます。

検証・システム認定

Q1 エコリーフを作成するにはライフサイクルステージ全体の実測データが必要でしょうか？

A1 エコリーフは製品分類別基準（PCR）で規定される実測データ収集範囲外では原則的に実測データを収集する必要はありません。そのかわり、エコリーフ共通原単位等を用いて、簡便にLCAを実施することができます。もちろん、データ実測が可能な場合には、共通原単位ではなく実測データを使用してもかまいません。

Q2 システム認定、データ検証では機密情報が部外者の目に触れることになりそうですが大丈夫でしょうか？

A2 当室と要員（データ検証員、システム認定審査員）間で機密保持契約を結び機密情報の第三者への漏洩を防いでいます。

Q3 エコリーフ共通原単位をエコリーフ作成以外の目的で使用することは可能ですか？

A3 エコリーフ作成以外の目的で使用することは禁じています。

Q4 外部検証とはどのような制度ですか？

A4 外部検証とは当協会の認定を受けた、独立した検証員が検証を行うことです。この検証結果報告を、当室が確認し、承認されるとエコリーフの登録・公開が可能となります。

Q5 内部検証とはどのような制度ですか？

A5 内部検証とは、システム認定を取得した企業が社内で行う検証のことです。内部検証を実施する検証員は、当協会の認定を受けていなければなりません。有効期間内、内部検証で合格すれば、ラベルはいつでも登録・公開することができます。システム認定を取得するためにはエコリーフプログラムで定められた仕組みを企業内で構築し、当室の認定を受けた審査員による審査を受け、レビューパネルで最終承認されることが必要です。

Q6 システム認定の製品事業体とは何ですか？

A6 システム認定は対象製品の事業体に与えられます。対象製品事業体とはエコリーフの製品分類別基準（PCR）に対応した独立採算制の組織体を指します。

Q7 システム認定で必要となる内部検証員は複数の事業体での兼務は可能でしょうか？

A7 可能です。

Q8 システム認定を取得したいのですが、内部検証員が確保できません。そのような場合はどうすればよいのでしょうか？

A8 暫定的に外部検証員を内部検証員としてシステム内に取り込むことで審査を受けることは可能です。ただし、検証料金については外部検証料金設定が適用されます。

料金

Q1 製品分類別基準（PCR）を制定するのに料金はかかりませんか？

A1 製品分類別基準（PCR）制定には料金はかかりません。ただし当協会で開催するWGにかかる交通費等実費は自己負担となります。

Q2 製品分類別基準（PCR）単位での登録公開料金のメリットは何ですか？

A2 公開登録件数が多い場合は、割安になります。PCR単位料金の場合、有効期間（1年）内であればラベルの登録・更新件数に制限はありません。ただし、料金の設定にあたっては対象PCRに含まれる全製品の売上げ実績額を申告していただくことが前提となります。

Q3 内部検証と外部検証ではどちらの方が割安ですか？

A3 システム認定料金は3年毎の更新です。目安としては、期間内に7件（年に2~3件）のペースでラベル登録・公開されるのであれば、多くの場合システム認定の方が結果的に割安になります。

Q4 ラベル公開までの料金と所要期間を教えてください

A4 基本の目安としては、①PCR作成、②検証、③ラベル登録公開まで、4か月~半年くらいが平均的所要期間です。初期費用は、ラベル1件（外部検証・1製品）として25万円となります。

Q5 複数製品の検証において、料金の割引はありますか？

A5 エコリーフでは製品の設計、仕様が類似する製品を同時に検証する際に、製品毎にラベルが付与される「類似検証」と、1シリーズに含まれる全ての製品を、1つのラベルで登録・公開する「シリーズ製品検証」の2つのタイプの割引料金を設定しています。



詳しくは…